さんけん
NPO 法人
三段峡・太田川流域研究会

資料 3：2019 年度事業計画

特例認定 NPO 法人三段峡－太田川流域研究会

I 全体の方針

2016 年度は「理念をつくる」、2017 年度は「理念をみがく、2018 年度は「理念をためす」とし、活動の指標作成と組織基盤強化に努めた。2019 年度は「理念を深める」を指針にして研究活動を強化したい。そこで本年のテーマを「蓄える」とし、広い意味での研究を深め将来にわたりさんけんが発展する知識と技術を組織内に蓄積していきたい。「リサーチ」では自然や歴史文化の研究をより深いものになるべく取り組む。「インタープリテーション」は「リサーチ」で得た知見を活かし、教育プログラムやエコツアーの細部まで世界観を作り込んだエンターテイメント性の高いプログラムへ深化させる。「ファシリテーション」2018 年度に始まった FMC↗の活動「あきおおたの楽しい 100 人」や「長期総合計画を読み解く会」など、地域を巻き込むプロジェクトの実践を通じた地域つくりを深めたい。

１．環境保全事業の方針

採集禁止の看板と禁止の措置を実現し、深入山における希少チョウ類の採集圧は減少し保全に一定の成果をあげた。深入山の全体の保全啓発活動と共に、より積極的なゴマシジミ保全の取り組みを行う。（禁止エリアの設定、ワレモコウと寄主アリの保護）

三段峡の美的環境保全活動として三段峡清掃活動を実施する。生態系の保全をベースとしつつ三段峡の美的価値の向上の為の実証実験を行う。

２．研究事業の方針

専門家を招聘して「歩く会」を引き続き継続的に実施する。本年はオーラルヒストリー（口伝）採集の為の「聞く会」を強化する。継続的なオオサンショウウオの研究事業を開始する。

３．観光事業の方針

（株）良品計画と協働のエコツアー事業を展開する。方針は「プログラム販売数よりプログラムの質を高める」ものとする。ビジターセンターに関しては財源がない中での開館をめざし、ボランティアによる運営など可能な方法を検討する。

４．地域づくり事業の方針

「あきおおたの楽しい 100 人」および「長期総合計画を読み解く会」を FMC↗として運営する。より多くの町民が巻き込める活動になるべく務める。

５．教育事業の方針

前年の調査により、教育機関にとって「依頼ができる教育プログラムの可視化」が課題であることが分かった。そこで提供できるプログラムの可視化を行い、教育機関や教育旅行事業者（地域商社）を通じて子供たちへの環境教育が実施できる環境を強化する。

６．情報発信及び出版事業の方針

さんけん新聞の発行を継続する。また三段峡の情報発信の方向性を明確にし、質の高い情報を発信し三段峡野外博物館のブランディングを行う。「情報を広く浅くよりも、深く発信する」として、さんけんにしかできない情報を構築する。

７．友の会運営事業の方針

会員募集の取り組みを継続する。また会員参加型の取り組みを充実させる。

さんけん
NPO 法人
三段峡・太田川流域研究会

資料 3：2019 年度事業計画

特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	事業費の予算額（単位：千円）
1.環境保全事業	101「環境保全」 生態系の保全の為の活動を行う	5 月～11 月	三段峡 深入山	9 人	太田川流域住民	500
	102「環境調査」 生態系保全の為のモニタリングを実施する	5 月～11 月	三段峡 深入山	9 人	太田川流域住民	20
	103「環境整備」 生態系や景観保全の為や補助路を整備する	5 月～11 月	三段峡 深入山	9 人	太田川流域住民	10
2.研究事業	201「歴史・文化」 三段峡の歴史や文化の研究を行う	通年	三段峡	5 人	太田川流域住民	100
	202「植物」 歩く会などを実施し植物の調査・研究を行う	4 月～12 月	三段峡 深入山 津浪	10 人	太田川流域住民	5
	203「動物」 歩く会などを実施し昆虫等の調査・研究を行う	5 月～11 月	三段峡 深入山	12 人	太田川流域住民	10
3.観光事業	301「インタープリテーション」 さんけんツアーの開発やガイド育成を実施する。また研修等に参加をする。	4 月～11 月	三段峡 深入山	10 人	太田川流域住民	30
	302「イベント・ツアー企画運営」 さんけんツアーやイベントの企画や実施を行う	4 月～11 月	三段峡	10 人	太田川流域 事業者	200
	303「ビジターセンター」 三段峡交流館にてビジターセンター展示の素材を収集する	6 月～3 月	交流館	10 人	センター来訪者	300
4.地域つくり事業	401「ファシリテーション事業」 「FMC↗（みんなでまるく向上委員会」の運営をし、地域活性化を話し合うことから行う	月 2 回 随時	筒賀社会福祉協議会会議室	3 人	安芸太田町民	20
	402「事務局委託」 さんけんの目的に沿うプロジェクトの事務局の依頼を受託し実施する。「あきおおたの楽しい 100 人」	2 カ月に 1 回 随時	安芸太田町内	5 人	安芸太田町民	60
	403「会議出席」 さんけんの目的に沿う会議への参加依頼を受託し出席をする	随時	安芸太田町内	5 人	安芸太田町民	30

資料 3：2019 年度事業計画

5.教育事業	501「教育プログラム開発」 自然体験学習・環境教育・ふる里学習のプログラムを開発する	通年	三段峡 深入山 龍頭峡	10 人	安芸太田教育機関	50
	502「安芸太田町教育機関等を対象とした教育プログラム実施」 町内の子ども達への教育プログラムの実施	6 月～11 月	三段峡	5 人	安芸太田子ども会 安芸太田中学校 筒賀小学校	50
	503「広島市内を中心とした教育機関等を対象とした教育プリグラムの実施」 町外の子ども達への教育プログラムの実施	7 月～12 月	三段峡 深入山 龍頭峡	17 人	加計小学校 芸北小学校 志屋小学校	300
	504「研修への参加」 さんけんの組織強化および目的達成の為の技能習得の為の研修への参加を行う	随時	広島市内等	10 人	さんけんメンバー	100
6.情報発信及び出版事業	601「さんけん情報発信」 さんけん新聞・HP で情報発信を行う 602「三段峡情報発信」 SNS などを活用した情報の発信を行う	通年	三段峡	6 人	三段峡に関心のある人	30
7.友の会運営事業	701「会員サービス」 会員向け企画・会員特典などさんけんメンバーの為のサービスを行う。	さんけん新聞 月 1 回 その他通年	三段峡	10 人	さんけんメンバー	10
	702「会員募集」 運用やさんけんの入会案内、会員獲得イベントなどを実施する	通年	三段峡	10 人	太田川流域住民	10
	703「寄附獲得」 さんけんに対する寄附獲得のための事業を実施する	通年	三段峡	10 人	太田川流域住民	10
8.エネルギー事業	今年度実施予定なし			0 人	太田川流域住民	0